



学校だより

かけ橋

パート III

横須賀市立汐入小学校 校長室

2014. 2. 5  
No. 20

元気でやりぬく子  
すすんで学ぶ子  
思いやりのある子

## 節分

1月の下旬、連合町内会長さんとお会いする機会がありました。その際、たまたま子の神神社の豆まきの話になりました。汐入小の子どもたちを地域の行事に参加させたいと思い、ご相談すると、すぐに、氏子の方に連絡をとっていただきました。

その方に、学校としての考えをお伝えしました。学校としては、授業の一貫として行うので、午後2時くらいがちょうど良いこと、せっかく子の神神社に行くので、お神輿や神社の彫刻のお話も聞かせていただきたいこと等々、学校の考えを率直にお伝えさせていただきました。

氏子の方は、

「学校の考えは分かったので、氏子会で相談してみます。」

と言ってくださいました。その後、氏子会で相談した結果を持って、氏子総代の方が、わざわざ学校にいらしてくださいました。学校の状況をご理解いただき、子どもたちのために様々な準備や配慮をしてくださいました。



後日、さらに、細かい予定表を届けてくださいました。初めて子どもたちを連れて参加するので、担任の先生方も少々不安がありました。しかし、細かい予定表をいただき、安心して節分当日を迎えることができました。

今年の節分は、例年になく穏やかな気候に恵まれました。ある先生が、「今日の1・2年生は、何だかハイテンションですね。」と言うくらい、子どもたちは、豆まきを楽しみにしていました。

神社に着くと、予定通りお神輿の説明からしてくださいました。お神輿がしまっ

ある倉庫の扉を開けて、中のお神輿を見ながら、その歴史をお話ししてくださいました。

次に、神社の正面に移動して、彫刻についてお話してくださいました。長い竹の棒で、その場所を指し示しながらのお話だったので、とても分かりやすかったです。

子どもたちは、真剣に聞いていました。説明が終わると、いよいよ豆まきです。神社の上の方から、顧問の方と各町内会長さんが豆をまいてくださいました。まく前に、顧問の方から、「ここでは、福は内しか言いません。」と説明がありました。

担任からは、「しあわせのお豆だよ。」と教えられているので、何とかそれを受け取ろうと、両手を広げて待っていますが、なかなかうまくキャッチできません。すると、上でまいている町内会長さんが、

「帽子を裏返して、そこで受け取るといいよ。」

と、教えてくださいました。それからは、順調に「しあわせのお豆」を受け取ることができました。

最後に、子どもたちだけに、お菓子のおみやげをもらって帰りました。今日参加することができなかった子どもの分もちゃんとお菓子をいただきました。地域の行事を思う存分楽しませていただきました。

子どもたちが、地域の方々に大切に思われていることを、改めて感じることができました。事前の準備も含めて、関係してくださった方々に、御礼申し上げます。ありがとうございました。

教室に戻って、ふり返りをかきました。子どもの記憶力と観察力に改めて驚かされました。また、子どもらしい表現に、思わずほほえんでしまいました。いくつか紹介します。(読みやすくするため、漢字に変換しています。イラストも子どもが描いたものです。)

今日、子の神社で豆まきをしました。おみこしは、110年前にできたおみこしで、戦争が始まって、おみこしがしまわれて、戦争が終わって、おみこしを出したら、ボロボロになっていて、募金をしてなおしました。



豆を配るおじさんが、投げた豆を黄色い帽子でキャッチしました。



おみこしは、きらきらしていました。おみこしは、大きくてとてもかっげなさそうです。

今日は、節分でした。子の神社に行きました。それで、おじいさん方が、お菓子とお豆を「福はうち」と言いながら、投げてくださいました。また、子の神神社に行こうと思いました。